

平成 28 年度 医療研究開発推進事業費補助金
成果報告書

I. 基本情報

事業名 : (日本語) 国産医療機器創出促進基盤整備等事業
(英語) Project to Build Foundations to Support and Incentivize Development
of Medical Devices Made in Japan

補助事業課題名 : (日本語) 国産医療機器創出促進基盤整備等事業
(英語) Project to Build Foundations to Support and Incentivize Development
of Medical Devices Made in Japan

補助事業担当者 (日本語) 岡山大学病院 新医療研究開発センター 講師 櫻井 淳
所属 役職 氏名 : (英語) Okayama University Hospital, Center for Innovative Clinical Medicine,
Lecturer, Jun Sakurai

実施期間 : 平成 28 年 4 月 1 日 ~ 平成 29 年 3 月 31 日

分担研究 (日本語) 該当なし
分担課題名 : (英語) 該当なし

補助事業分担者 (日本語) 該当なし
所属 役職 氏名 : (英語) 該当なし

II. 成果の概要（総括研究報告）

岡山大学は平成 25 年 8 月に「研究大学強化促進事業（文科省）」の支援対象大学（国内 19 大学）に選定され、研究の量、質において世界的に存在感のある「リサーチ・ユニバーシティ（研究大学）：岡山大学」を目指している。また、岡山大学病院は平成 29 年 3 月に「臨床研究中核病院（厚労省）」並びに平成 29 年 4 月より「橋渡し研究戦略的推進プログラム拠点（文科省）」として、同地区の基幹病院とのネットワークを利活用した 大規模な臨床研究や治験、基礎研究から臨床応用にいたる橋渡し研究を精力的に実施し、さらにこれら研究開発のサポートを行う ARO 機能整備を行っている。

本事業「国産医療機器創出促進基盤整備等事業」ではこれら大学の研究開発基盤を活かし、地元医療機器開発企業に対する「学びの場としてのアカデミア」を目指して事業展開を行った。さらに、中四国地方行政機関（中国経済産業局、岡山県産業労働部産業振興課、岡山市保健福祉局医療政策推進課、広島県健康福祉局薬務課等）及びその関連機関（岡山県産業振興財団、かがわ産業支援財団等）にも本事業について理解と協力を得ながら本事業を実施した。

本年度は新たに企業からの医療現場見学受入ルールの策定を行った。

また、昨年度に引き続き、医療機器開発に関する薬事相談業務を行った。同じく、医療機器開発におけるプロフェッショナルの育成として、「次世代医療機器開発プロフェッショナル育成プログラム（①育成基礎コース、②育成アドバンスコース）」及び「次世代医療機器事業化促進プログラム」を実施し、医療機器を開発する企業ならびに医療機器開発新規参入企業からの人材を岡山大学病院に受け入れ教育を実施した。

さらに、医療機器を開発する人材の交流・発掘のための場の提供として、岡山大学病院で開催（岡山大学研究推進産学官連携機構と共催）した中央西日本メディカル・イノベーション 2017 においても、中四国地方を中心に医療機器開発企業 34 社、延べ 300 名の参加者であった。

このように本事業では地元岡山のみならず中四国地方を中心とした医療機器開発企業、並びに行政各庁の協力の元、地域に根づいた医療機器開発プロフェッショナルの育成を引き続き推進する。

Okayama University Hospital received the certifications for "Clinical Research Core Hospital (Ministry of Health, Labor and Welfare)" and "Translational Research Promotion and Network Program Center (Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology)". We are vigorously implementing large-scale clinical research, clinical trials, basic research and clinical application studies that utilize the network of the ARO and the ARO function that supports these research and development.

To achieve this project, we were collaborating with local administrative agencies (Okayama Prefecture, Okayama City, etc.) and related organizations (Okayama prefecture industry Promotion Foundation, Kagawa Industry Support Foundation etc).

In this fiscal year, we have newly formulated rules for accepting visits to medical institutions from companies.

In addition, last year, we carried out consultation work on medical device development. Likewise, as a training of professionals in the development of medical devices, we implemented "Next Generation Medical Device Development Professional Training Program (Basic and Advanced Course)" and "Next Generation Medical Device Business Development Promotion Program". Also, medical device developers from new entry companies were accepted into

Okayama University Hospital and education for the developer was carried out.

In Mid-West Japan Medical Innovation 2017 held at Okayama University Hospital as a place for exchanging the medical device development person and discovering the medical needs and seeds, there was a medical equipment development company 34 company, with a total of 300 participants.

Thus, in this project, we continue to promote the development of medical device development professionals rooted in the community, in cooperation with not only local Okayama but also medical device development companies, mainly in the Chugoku and Shikoku region, and administrative agencies.

III. 成果の外部への発表

(1) 学会誌・雑誌等における論文一覧（国内誌 0 件、国際誌 0 件）

該当なし

(2) 学会・シンポジウム等における口頭・ポスター発表

1. 3年目を迎えた岡山大学の国産医療機器創出促進基盤整備等事業の現状、口頭、桐田 泰三、第14回産学連携学会、2016/6/16～2016/6/17、国内
2. 医療福祉機器のコーディネーションのノウハウ、口頭、桐田 泰三、産学連携学会 関西・中四国支部 第8回研究・事例発表会、2016/11/28～2016/11/29、国内
3. AMED 国産医療機器創出促進基盤整備等事業、口頭、櫻井 淳、中央西日本メディカル・イノベーション 2017、2017/3/14、国内

(3) 「国民との科学・技術対話社会」に対する取り組み

1. AMED 国産医療機器創出促進基盤整備等事業、口頭、櫻井 淳、中央西日本メディカル・イノベーション 2017、2017/3/14、国内

(4) 特許出願

該当なし